

# 大東市歴史の散策道

## ～ 東高野街道を行く（北コース）～

四条畷駅⇄野崎駅（所要時間 1 時間）

四条畷駅から野崎観音を経て、野崎駅まで市内最古の街道「東高野街道」を南下するコースです。コースにはありませんが、四条畷駅西側の小楠公（楠木正行）御廟所、山麓の四條畷神社なども合わせて見学してはいかがでしょうか。余力があれば、野崎観音から専應寺、歴史民俗資料館など「東高野街道を行く（南コース）」の文化財を見学したり、商店街での買物も楽しむことができます。

(始) 四条畷駅 ⇒ 北條神社 ⇒ 山神石 ⇒ 十念寺 ⇒ 南條神社 ⇒ 野崎観音  
⇒ (歴史民俗資料館) ⇒ 観音浜の碑 ⇒ (終) 野崎駅



四条畷駅



東高野街道は、長岡京・平安京時代の官道、南海道がはじまりです。弘法大師空海ゆかりの高野山金剛峯寺と京都の東寺を結ぶ道路で、平安時代後期から鎌倉時代初期には高野山参詣の道として利用されていたと考えられています。



小楠公（楠木正行）墓所  
（四條畷市）



四條畷神社  
（四條畷市）



山神石

北條神社のすぐ横に、山を支配する神を祀る山神石が残されています。この辺りでは昔、山仕事が行われ、1月3日には初山、山行きと称し、この山神にお神酒を供えてから山に入り、風呂の薪1、2束つくって帰ってくる風習がありました。



北條神社

十念寺の少し北より山側に登ると、菅田別命（応神天皇）と菅原道真を祀った北條神社があります当初は菅原道真だけを祀っていましたが、明治5年に同村内にあった八幡宮を合祀しました。その為、境内では現在でも「八幡宮」と書かれた灯籠を目にすることができます。



十念寺

野崎観音から東高野街道を北へ向かうと、街道沿いに十念寺があります。浄土宗西山派光明寺の末寺で、小楠公とその一族の菩提寺です。「本堂再建奉加帳」に記された略縁起には、この地域一帯が戦場となった四條畷合戦に関連した記載がみられます。この近辺には「ハラキリ」「古戦田」の地名が残っています。



野崎観音

野崎観音、正式には福聚山慈眼寺といい、平安中期に江口の君が建てたと伝えられています。戦国時代にすべて焼失しましたが、近世初頭の元和年間(1615~23)に曹洞宗の僧青嵐によって復興され今に至ります。また落語などで有名な野崎参りは、秘仏の十一面観音像の開帳から始まりました。



南條神社

野崎観音の境内にあるのが南條神社です。『河内名所図会』に「天王社」として紹介されるように、古くは牛頭天王宮とも呼ばれていました。祭神は素戔鳴命と牛頭天王です。明治5年に宝塔神社へ合祀されましたが、明治13年に再び分祀され現在に至っています。



十一面観音 (野崎観音)



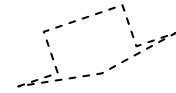
石造九重層塔  
(野崎観音 裏山)



野崎城跡  
(野崎観音 裏山)



「牛頭天王」(南條神社)



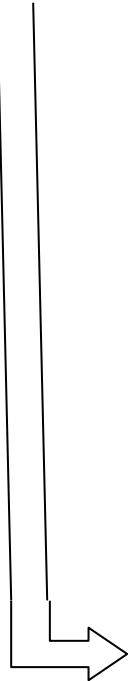
専應寺



歴史民俗資料館



観音浜の碑





のざきまいり

かつて野崎まいりに向かう船は、大阪市内の天満八軒家浜から大川をさかのぼり、寝屋川に入り、住道浜を通過し、現在の谷田川である観音井路に入りました。その終着点がこの観音浜です。人々はここで船を降り徒歩で専応寺を經由して野崎観音へと向かいました。

野崎駅

野崎参道商店街  
おみやげ、買物

